

御祓中だより

冬休み号 (集金あり)

学校ホームページ <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~misogj/NC2/htdocs/>
学校メールアドレス misogityu@city.nanao.ishikawa.jp

平成25年12月24日
No.11 七尾市立御祓中学校
TEL 53-0201

時間を有効に！～授業時間と毎日の2時間20分～

「光陰矢の如し」とよくいわれますが、今年もあっという間に過ぎようとしています。時間は何もしなくても過ぎていくわけですから、時間を大切にしたいものです。

ところで、1年間の授業時間はどれほどあるのかと考えたことがありますか。

1年生であれば、例えば国語は週に4時間、社会は3時間、数学は4時間あります。1週間の授業時間を合わせると、29時間となります。1年間ではどれほどになるかというと、1,015時間となります。この時間は、御祓中学校だけではなく、全国どの中学校も1,015時間となっています。

しかし、授業時数を1時間とカウントしていますので、実質は50分授業ですから、これより少なくなります。したがって、授業時間を50分として計算すると、

「1,015時間×50分＝50,750分」

となります。1年間の授業時間を分で表すと、50,750分なのです。5万分なんて、ものすごく多くの時間だと思うのでしょうか。それは大間違いです。

この時間を1年365日で割ってみます。

「50750分÷365日＝約139分＝約2時間20分」

ほどになります。仮に学校が1年間毎日あったとしたら1日2時間20分の授業をすればよいことになります。8時に登校したら、11時には下校できるわけです。

言い換えれば、家で毎日2時間20分の勉強をすれば、学校の授業時間と同じになるのです。授業と同じ時間だけ、家で勉強すれば力がつくのは当たり前です。

ところが、2時間20分を勉強に使わず、ネットやゲームに使ってしまっている人はいませんか。3時間も4時間も使ってしまう人がいるようです。もうすぐ冬休みとなります。開放的な気持ちから、さらにネットやゲームに熱中する人がいるのではないかと心配しています。

家庭での2時間20分は、とても貴重な時間です。必ず確保しなければならない勉強時間の目安としてください。

この冬休みは、1,2年生はもとより3年生にとっても受験にむけての追い込みの大事な時期でもあります。今年は「倍返し」という言葉が流行りましたが、この時間の2倍でも3倍でも取り組んでください。きっとその成果はさらに倍になって、あなたに返ってくるでしょう。

1,2年生は進級に向けて、3年生は受験に向けて有意義な冬休みにしましょう。

1月集金引き落とし日 のお知らせ

今月の集金の引き落とし日は、
1月7日(火)です。お間違いないようお願いします。

Let's call... オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

◆相談内容：悩んでいること、困っていること

◆TEL 0767-52-0783

◆受付時間：13:00～16:00 (月曜～金曜)

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

2年生食育講演会

北國H25.12.6↓

12月5日に今年で2回目となる2年生を対象とした「食育講演会」を行いました。

昨年に引き続き沢野ごぼう生産組合の谷口藤悦組合長さんに講師として、来ていただきました。

谷口組合長さんのお話によれば、中島菜を中島以外の土地で栽培しても地元中島で採れる中島菜の味にはならないのと同じように、沢野ごぼうも沢野周辺の崎山半島の一部にある傾斜面の土地でないと、あの大きなごぼうに生えないそうです。

石灰岩を含む土壌で独特の土地であるということです。

伝統の沢野ごぼうは、限られた土地でしか生産できないので、生産量を増やすことができないのが大きな課題だそうです。

中日

H25.12.8→

沢野ごぼうを御祓中学生が七尾で食育講演会
七尾市御祓中の食育講演会「沢野ごぼうについて」は5日、同校で開かれ、2年生73人が地域の特産物について学んだ。
沢野ごぼう生産組合の谷口藤悦組合長が、長さ約1.5mのごぼうを示し、沢野ごぼうが藩政期に前田家から將軍家に献上されていたことなどを説明した。



沢野ごぼうを持って大ききやにおいを確かめる生徒たち―七尾市御祓中で

沢野ごぼう覚えてね

七尾の生産組合が食育講演

能登野菜の沢野ごぼうについての食育講演会が、七尾市御祓中学校であり、2年生七十三人が地元特産品の歴史や栄養などを学んだ。
沢野ごぼう生産組合の谷口藤悦組合長（次）が「江戸時代には幕府に献上された」と説明。生徒たちは長さ一メートルほどのゴボウを両手で持った折りたたみして「大きい」「土のおいがする」などと大きさを体感した。
生徒たちは沢野ごぼうの知識を問う組合オリジナルの検定にも挑戦した。今後、沢野ごぼうを使った調理実習に取り組む。（荒木正親）

大会成績

Congratulations!

◆七尾市中学生インドアソフトテニス研修大会

男子団体 優勝
男子団体トーナメントB 優勝
男子個人 優勝 出口 翔大(21H)・久保田未来(21H)
3位 船本 嘉希(22H)・長 颯(21H)

◆漢字検定

準2級 高瀬 英里(32H)
3級 川本 峻士(31H)、竿漕 大夢(31H)、滝野 賢祐(31H)、徳田 眞衣(31H)、石垣 結希(32H)

◆市読書感想画コンクール

【課題図書】 最優秀賞 山本日菜子(12H)
【自由図書】 優秀賞 坂本 志奈(12H)

◆平成25年度人権啓発標語入賞

特選 「『やめようよ』 たった五文字で 変わる明日」 北原 染羅(22H)
佳作 「気づいたら 助けてあげよう 君の手で」 川本 竜士(22H)
入選 「仲直り いつするのかな 今でしょ」 滝川 鈴(21H)

LINEによるトラブル急増！

LINEによるネットいじめや事件などが全国的に蔓延している状況があります。市内の小中学校をはじめ、本校でも大小の差はあれ、LINEによるトラブルが見られます。ネットトラブルについては、1学期には全校生徒を対象にした「防犯教室」(講師:七尾署署員)や「ネット講座」(講師:中能登教育事務所指導主事)を開催しました。さらに、学校だよりでも7月24日付で「ネットトラブルに巻き込まれないために」と特集を組んで紹介してあります。冬休みを前に、生徒にも話をして指導していきますが、ご家庭でも今一度、この長い冬休み(14日間)の間にお子さんとネットの使い方等の話をしてトラブルに巻き込まれないようにご指導をお願いします。

なお、先般の新聞記事でもLINEに関しての記事がありましたので、紹介します。

<LINEによる投稿>

- ◇ 横浜市の母親(42)は、LINEを巡る親子げんかの日々を報告してくれた。中学3年の息子はiPod touchでLINEやゲームにはまった。親の目を盗んで深夜まで。朝起きられず、学校に遅刻するようになった。「もうやめる」と約束しても守れず、何度もけんかになった。
そこで「リビングでのみ使用」と約束させた。文句を言うので、場所の制限は「受験が終わるまで」ということにした。だがテスト勉強の休憩時には必ずリビングにきて、端末をいじり、勉強どころではなくなった。
「機械が悪いとは言っていない。使う人間の問題だ!」と叱ると、反発して激高した息子は、自分で端末を床にたたきつけて壊し、泣きながらつぶやいた。「みんな、これがあるから勉強できないって言っている」
- ◇ 都内の中学2年の息子の母親(51)は「自分の家だけのルールじゃ通用しない」と頭を抱える。「午後8時以降はiPod touchは使用禁止」とルールを決めた。だがほとんど守れない。学校以外どこへでも持ち歩く。学校で無視されたり、LINEで悪口を言われたりするのが心配だと、常に画面を気にする。成績も落ちた。
- ◇ 栃木県の母親(42)は、娘の高校入学時に根負けしてスマホを買った。同じ組になった子たちがLINEのID交換をしてグループをつくる様子を見て、涙ながらに「買って」と訴えてきたからだ。さらに中学2年の息子までもLINEがしたいと言い出した。「買い与えたくない、でも友達付き合いも心配」。親心は揺れている。

<LINEについて読者から寄せられた声>

- ◆ 家族旅行で、娘は風景や食事などの写真をLINEに随時アップ、瞬時に友達から返信される。家族より遠くの友だちと旅行を楽しんでいるようにしか見えない。
(福島県 中学生の母50歳)
- ◆ 「つぎ教室どこ?」など、友達との連絡はほとんどがLINE。情報共有の即時性とグループの一体感が良く、使う頻度が驚くほどに増えた。
(埼玉県 男子大学生19歳)
- ◆ 小学校の授業参観で子供が手を挙げているところを撮影し、LINEにアップする親もいる。注意する前に親自身の問題もある。
(神奈川県 小中学生の母43歳)
- ◆ チャット形式のLINEでは、短い文の羅列でコミュニケーションが成り立ち、浅薄なものになってしまう。違和感を感じる。
(横浜市 男子大学生21歳)
(朝日H25.12.8)

こうしたことから、ある地域では、①LINEによるコミュニケーションを極力避ける ②LINEの使用はリビングに限定、特に夜10時から朝6時までには通信機器を保護者に預ける ③通信内容は親が確認できるようにする、などを目標に掲げ、全生徒の家庭に呼びかけたそうです。

本校においても、少なくともスマホや携帯、パソコンの利用について、①例えば、午後9時から翌朝8時までには使わせないとか、②保護者が利用状況を確認するとか、③各家庭でルールを作るとか、などの取組が必要になるのではないかと思います。

ぜひ、この記事を参考にされて、具体的な家庭での取組を見出してほしいと思います。

今年も地域に「ミニ門松」を贈ろう ～1年生～

今年度で3回目となる「石川県生涯学習インストラクターの会」会員の方々が講師となって、1年生に「ミニ門松作り」を指導してくださいました。日本古来の伝統文化を生徒たちに知ってもらいたいということと、日頃から生徒たちを支え、見守ってくださっている地域の人たちに正月を気持ちよく迎えてもらいたいという思いでプレゼントをしよう、というねらいで取り組んでいます。

冬休みに入ってから、生徒たちが心を込めて作り上げたミニ門松を地域の高齢者施設、保育園・幼稚園、公民館、児童館、総合病院、公共施設などに届ける予定です。

石川県生涯学習インストラクターの会の皆様、お世話になり、ありがとうございました。

中日 H25.12.18 ↓

◆御祓中でミニ門松作り
七尾市御祓中の1年生
48人は17、18日、同校で
高さ25センチほどのミニ門松
作りを楽しんだ。門松は
地域の特別養護老人ホ
ムや保育園などに贈られ
る。県生涯学習インスト
ラクターの会の川部謙三
会長が指導した。19日も
行われる。

梅やナンテンで門松を彩る生徒たち 七尾市御祓中で



ミニ門松「うま」添えて 七尾・御祓中学生徒が作製

七尾市御祓中学校の一日、新年を前に高さ約
一
年生三十四人が十七、三十センチのミニ門松を作

った。冬休みに、市内
の病院や福祉施設、保
育園などに届ける。

生徒たちは、斜めに
切った青竹を松や梅、
ナンテンで彩った。飾
り付けに、来年のえと
のうまを折り紙にして
添えて、門松を完成さ
せた。

県生涯学習インスト
ラクターの会の川部謙
三会長（もくろ）が指導。
川部会長は「縁起物を
飾って、神様をお迎え
しましょう」などと声
を掛けていた。御祓中
では十八、十九日も門
松作りがある。

（荒木正親）

よいお年をお迎えください

保護者の皆様、地域の皆様には、今年も大変お世話になりました。

今年度はネットいじめの事件が全国的に波紋を広げました。御祓中学校では、その対応にも組織的に行動していますが、生徒が安全で安心した学校生活が送れるように、そして、引き続き保護者の皆さんが、安心して学校にお子さんを預けていただけるように努めていきます。

来年度もさすが御祓中学校だと言われるように学力のさらなる定着を図り、近隣中学校のトップリーダー的な存在として、その名を高めていきます。そのためにも保護者の皆様、地域の皆様のお力添えが必要になることは申し上げるまでもありません。さらなるご理解とご協力をお願い致します。

今年もお世話になりました皆様に感謝を申し上げるとともに、よいお年をお迎えできますようお祈り申し上げます。今年もありがとうございました。